

# すいきゅう NEWS

Vol... 101  
No... 1  
2009  
January

MARINE RESCUE JAPAN



発行 社団法人 日本水難救済会

〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番地 海事センタービル

電話 03-3222-8066 FAX 03-3222-8067

ホームページ <http://www.mrj.or.jp>

## 名誉総裁 年頭挨拶



新年明けましておめでとうございます。

本年も、全国の救難所員の皆様が、  
海上における人命、船舶の救済に力を尽くし、  
海上産業の発展と海上交通の安全確保に  
寄与されますとともに、  
国民の皆様から益々信頼され、  
発展をとげられることを願っております。

平成二十一年一月  
社団法人 日本水難救済会  
名誉総裁 憲仁親王妃久子



## 新年明けまして おめでとうございます。 今年 は 本会 に とり まし て 120周年の年になります。

社団法人日本水難救済会  
会 長 相 原 力

平成21年の年頭を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本会は、明治22年11月3日に、金刀比羅宮宮司琴陵宥常氏の発起で設立されましたので、今年 は 本会 に とり まし て 120周年の年となります。

本会は、設立以来、19万人を超える人命と約3万9千隻の船舶を救助いたしました。これは、危険な海難救助活動にボランティアで積極果敢に立ち向かった数多くの先人たちと、その意志を引き継ぎ現在活躍されている約5万6千人の救助員の皆様の輝かしい成果であります。

全国の救助員の皆様におかれましては、昼夜を問わず海難救助出勤などご苦労されておられますが、今年も事故のないよう十分に留意され、救助活動にご尽力をお願いいたします。

昨年は11月末までに、全国で345件の海難に出動し、315人、134隻を救助いたしました。全国の救助員の皆様の救助活動への積極的な取組みと崇高なボランティア精神によるものと敬意を表する次第であります。

また、発足して23年を経過しました洋上救急事業は、昨年11月末現在で、発足以来延べ659件の出動が行われ、日本船舶はもちろんのこと、日本近海を航行する外国船舶からも高く評価されるに至っております。海上保安庁等関係官庁や関係諸団体の引

き続きのご理解とご支援を頂き、当会の主要事業として本制度を推進して参りたいと考えています。

青い羽根募金事業については、少しずつではありますが、広く国民の皆様知られてきているという思いがありますが、募金金額としてはまだまだであり、引き続き努力していかなければならないと考えています。

当会の運営は、日本財団や日本海事センターその他の諸団体のご支援がないと成り立たないわけですが、自らも財政基盤強化のため、的確な事業運営を行い、人命救助等の公益事業を推進することが喫緊の課題となっております。

また、昨年12月1日から公益法人改革3法が施行され、新制度への移行が開始されました。本会もこれらについて所要の対応を行うべく、検討を行っているところでありますが、各地方水難救済会におかれても移行に向けた検討等をお願いしたいと思います。

最後に、全国で水難救済に携わっておられる皆様、当会の事業をご支援いただいております皆様のご健勝と御活躍、そして皆様にとりまして今年がより良い年となりますよう祈念しまして、新年のご挨拶といたします。



## 新年明けまして おめでとうございます。

海上保安庁長官  
岩崎 貞二

平成21年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

(社)日本水難救済会におかれましては、明治22年の創設以来、崇高なボランティア精神のもと、120年の長きにわたり水難救済事業を展開され、これまでに、約19万名を超える尊い人命と約3万9千隻の船舶を救助するなど、輝かしい歴史と伝統を築き上げてこられました。

これもひとえに、全国各地で、日夜、海難等の報に接するや生業を投げうって救助活動に従事していただいている約5万6千名の救難所員の方々をはじめとする関係者の皆様のたゆまぬ努力の賜物であり、心から敬意を表する次第であります。

また、洋上救急事業におきましても、昭和60年の運用開始から24年目を迎え、通算の出動件数が650件を数えるなど、洋上における救急救命に大きな役割を果たしており、海を職場とする船員の方はもちろんのこと、ご家族関係者にとりましても非常に心強い制度であり、内外関係者から高い評価を受けているところであります。

この達成の裏には、本来業務多忙な中、巡視船や航空機に同乗のうえ、遙か洋上まで往診等の労に当たっていただいた医師・看護師の方々や協力医療機関等関係者の皆様のご理解、ご協力により成し得たものであり、心より感謝申し上げます。

さて、我が国周辺海域におきましては、年間(平成15年から19年までの5ヵ年平均)船舶海難により、

約120名の方が、また、船内や海浜における事故等により、約1,400名の方が不幸にも亡くなられており、一刻も早い救助活動が必要な状況にあります。

海上保安庁といたしましては、老朽・旧式化した巡視船艇・航空機の緊急かつ計画的な代替整備等を進めるとともに、「空き巡視艇ゼロ」を目指した複数クルー制の拡充、主要航空基地にヘリコプターからの降下、潜水、救急救命といった救助技術を兼ね備えた機動救難士の配置など、引き続き迅速・的確かつ高度な救助・救急体制の強化を図っているところでありますが、長大な海岸線を有する我が国沿岸において発生するこれらの海難等に、迅速・的確に対応するには、自ずと限界があり、洋上救急事業を含めた水難救済会の活動に大きな期待を寄せているところであります。

海上保安庁といたしましても、日本水難救済会を中心とした水難救済体制の更なる充実、発展のため、全面的に支援させていただくとともに、綿密な連携のもと、海上における尊い人命及び財産の救助に万全を期していく所存でありますので、引き続き皆様方のご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

最後に、全国各地において、人命救助という崇高な使命のもと、日夜ご活躍されている救難所員、医師、看護師等関係者の皆様のご健勝と、日本水難救済会の一層のご発展を祈念いたしまして、私の新年の挨拶とさせていただきます。

# 平成20年度 第2回理事会開催



平成二十年九月三十日、海事センタービルにおいて、第二回理事会を開催しました。

理事会の開催にあたり、相原会長の挨拶の後、海上保安庁の城野警備救難部長からのご挨拶をいただきました。

「平成二十一年度日本財団及び財団法

人日本海事センターに申請する予算（案）」、「救助出動報奨金交付規則の一部改正（案）」、「日本水難救済会救難所員等互助会規約及び同規約実施細則の一部改正（案）」等について審議され、原案どおり異議なく承認されました。

「平成二十一年度日本財団及び財団法人日本海事センターに申請する予算（案）」は、合計一億一千四百九十万円で、本年度の助成金・補助金の合計額に比し大幅に増加しておりますが、これは、日本財団に次の助成金申請を行ったためです。

イ 児童たちに海で各種泳法を体験習得させる等の目的で行う皆泳教室を試行するための助成金

ロ 救助船を建造するための助成金

ハ 次に説明します救助出動報奨金交付規則の一部改正を来年度以降も継続して実施していくために必要な助成金の増額

「救助出動報奨金交付規則の一部改正

（案）」は、最近の燃料費の高騰による救助員の皆様のご負担の一部を軽減するため、二十年十月一日から当分の間（取り敢えずは本年度内）、一人当たりの報奨金額を二割増額するとともに、一件の海難救助について複数の救難所が出動した場合の交付対象人員の限度数を引き上げるものです。

「互助会規約及び同規約実施細則の一部改正（案）」は、互助会の会費を五百円に減額し分配金を廃止するなどの改正であり、五名の互助会理事の推選も行われました。



城野警備救難部長挨拶

# 救助出動報奨金交付規則の改正について

当会の救助員の皆様は、自らの生業をなげうってボランティアで海難救助を行っておられます。この救助活動の殆どは、救助員の皆様が所有する船舶を救助船として使用しておられますので、燃料費、維持費等も負担していただいていることとなります。

最近、燃料費等の高騰により救助員の皆様の負担が急増したと考えられましたことから、日本財団に対し報奨金の増額をお願いしていましたが、これが認められ、昨年10月1日から当分の間、救助出動報奨金交付規則別表を次表のとおり改正することといたしました。これにより、皆様の負担が少しでも軽くなれば幸いです。

なお、今回の改正は取り敢えず半年間のみということですので、前頁でご説明しましたように、この改正を来年度以降も継続して実施していけるよう必要な助成金の増額を日本財団に要求しております。

別表（第3条第2項関係）

区 分	救助出動報奨金の額（1人当たり）	交付対象人員の限度数	
		1件の海難救助に就いて1救難所が出動した場合	1件の海難救助について複数の救難所が出動した場合
発動時から救助終了時までの時間が4時間未満の出動に対する交付	<b>(改正案)</b> 6,000円	<b>50名</b>	<b>100名</b>
	(現 行) 5,000円	50名	80名
出動時から救助終了時までの時間が4時間以上24時間未満の出動に対する交付	<b>(改正案)</b> 7,200円	<b>50名</b>	<b>100名</b>
	(現 行) 6,000円	50名	80名
出動時から救助終了時までの時間が24時間を超え、引き続く24時間から48時間未満までの出動に対する加算交付	<b>(改正案)</b> 3,600円	<b>30名</b>	<b>60名</b>
	(現 行) 3,000円	30名	50名
発動時から24時間を経過した後出動した場合であって、48時間までの出動に対する交付	(現 行) 3,000円	30名	50名

# 紅綬褒章受賞

本年五月に本会名誉総裁表彰を受賞した高知県水難救済会の大月救難所（所長 堀淵 克文氏）と宿毛救難所（所長 浦尻 和伸氏）が、平成二十年の「秋の褒章」で紅綬褒章を受章しました。

十一月十八日に、国土交通大臣からの紅綬褒章の伝達式、天皇陛下拝謁が行われました。

## 受賞した救助活動の概要

平成一九年五月三十一日午後八時四十分頃、高知県幡多郡大月町南方海上において四人乗りのプレジャーボートが岩礁に激突大破し浸水沈没したとの情報入手するや直ちに救助船を出動させ、漂流中の四人全員を無事救助しました。

現場海域は、暗礁等が散在する危険な海域で、夜間の強風下、自らの危険も顧みず海中に飛び込み救助するなど、卓越した操船技術と人命救助に対する崇高な使命感により救助したものです。



大月救難所長（左）と宿毛救難所長（右）

## 紅綬褒章を受賞して

高知県水難救済会

大月救難所長 堀淵 克文  
宿毛救難所長 浦尻 和伸

今回、紅綬褒章をいただきましたことは、身に余る光栄なことと大変嬉しく思っております。

私どもは、我が国の周辺海域で活動を

される人々の安全を確保するために、少しでも役に立ち、力になればという思いで、日々、海難救助を行っております。海難は、いつ発生するか分からないため、日頃の救難所員の精神的な負担は大きく、また、実際に出動する時は、海上の気象海象条件が厳しいことが多く、救助を行う側にも危険を伴うものであります。

今回、受賞対象となりました私どもの海難救助も、強風下の夜間での活動でありましたが、事故なく遭難者を救助できましたのは、日頃の訓練の賜物であるとともに、人命救助という使命を何とか果たしたいという救難所員全員の強い気持ちがあつた結果と受け止めております。

今回の受賞は、私どもに大きな激励とともに、更なる新しい活力を与えて頂きました。

これからも、紅綬褒章受賞の榮譽に恥じぬよう十分に訓練を積み、一層の努力を重ねて参りたいと思っております。

平成20年度

## 青い羽根募金実績の状況

日本水難救済会は、平成20年度も「海の日」を中心に7～8月の2ヶ月間を青い羽根募金強調期間と銘打って、全国都道府県水難救済会と協力して積極的に募金活動を実施しました。

今年度も全国の多くの皆様から、青い羽根募金の趣旨にご賛同をいただき、暖かいご支援をいただいています。海上保安庁、防衛省等関係省庁をはじめ都道府県、企業、団体等からもご支援をいただきました。

特に、防衛省関係では、全国の陸上、海上及び航空自衛隊の隊員の皆様や、海洋少年団及び学校生徒会の皆様、募金活動ありがとうございました。誌上をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

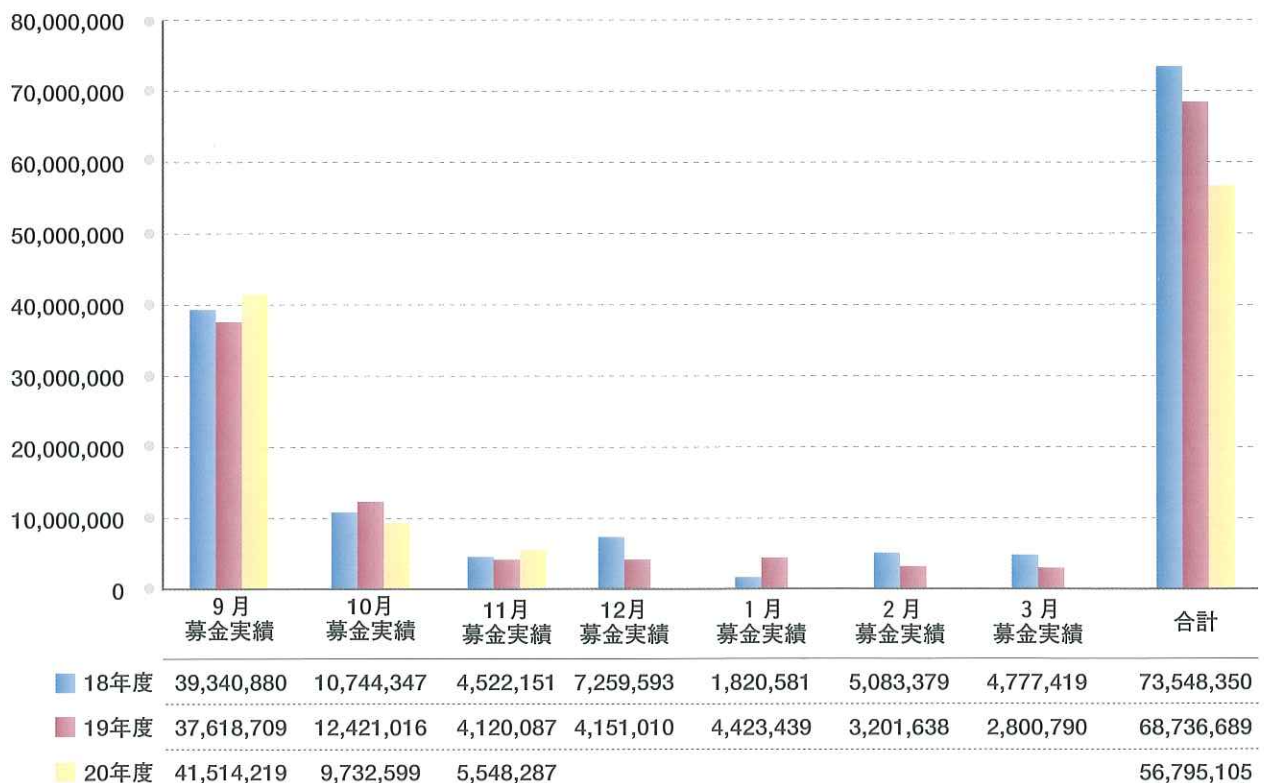
皆様のご支援をいただき、本年度は、11月（4月から11月末の集計）までに、56,795,105円の募金をいただきました（下図・青い羽根募金実績参照）。

なお、募金実績は平成19年度は前年度を下回りましたが今年度11月末現在の募金額は、平成19年度を上回っています。

平成20年度の募金実績は、外部の有識者で構成される「青い羽根募金運営協議会」に報告されるとともに、使用実績等が審議されます。

青い羽根募金実績

単位：円





## 青い羽根募金の広報活動

## ● 青い羽根募金活動にご協力いただき、ありがとうございました ●

## SGホールディング株式会社 様



SGホールディング株式会社（本社：京都市南区、社長：栗和田榮一）は、平成十三年から社会貢献活動の一環として本会の実施している「青い羽根募金」に毎年、佐川急便㈱本社をはじめ全国の各支店、各営業所及びグループ会社の全社員の皆様からご賛同をいただき、社員の皆様からの多額のご支援をいただきました。

十一月二十六日佐川急便㈱東京本部に置いて同社理事別所恭一様へ（社）水難救済会坂本日本水難救済会理事長より会長感謝状を贈呈しました。

## 東洋建設株式会社 様

東洋建設株式会社（本社：東京都江東区、社長：赤井憲彦）は、毎年七月八月の「青い羽根募金強調運動期間中」において、本社及び全国の各支店営業所、各事業所及び系列会社の社員の皆様から青い羽根募金の趣旨にご賛同をいただき、今年も高額募金をいただきました。十一月二十七日東洋建設㈱本社に置いて同社社長赤井憲彦様へ本会坂本理事長より日本水難救済会会長感謝状を贈呈しました。



## 若築建設株式会社 様



若築建設株式会社（本社：東京都目黒区、社長：福高章雄）は、七月八月の「青い羽根強調運動期間中」において、本年も、本社、全国の各支店、営業所及び事業所をはじめグループ各社の皆様から「青い羽根募金」の趣旨にご賛同をいただき高額な募金をいただきました。

十二月二日若築建設㈱東京本社において同社建設事業部門執行役員尾上 充様へ（社）水難救済会磯貝常務より日本水難救済会会長感謝状を贈呈しました。

三井造船株式会社 玉野事業所 様



三井造船株式会社 玉野事業所（玉野市）は、「青い羽根募金」の趣旨にご賛同をいただき、玉野事業所及び協力会社の皆様から、岡山県水難救済会に対し毎年暖かいご支援を頂いており、特に今年度は多額の募金をいただきました。平成二十年十月二十一日三井造船（株）玉野事業所において、屋鋪 一樹事業所長に対し、岡山県水難救済会特別会員である黒田晋 玉野市長より日本水難救済会会長感謝状を贈呈しました。

陸上自衛隊 朝霞駐屯地 様

今年度も防衛省本省をはじめ、全国の陸上自衛隊、海上自衛隊及び航空自衛隊の各部隊の隊員の皆様から「青い羽根募金」の趣旨にご賛同をいただき、暖かいご支援をいただきました。十一月十四日陸上自衛隊朝霞駐屯地において、同駐屯地業務隊長 上口信行様へ本会磯貝常務理事より会長感謝状、事業功労有功盾を贈呈しました。



浜田海洋少年団 様



浜田海洋少年団（島根県浜田市）は「青い羽根募金」の趣旨にご賛同を頂き、今年度も浜田市内において、募金活動を実施し、市民の皆様からの暖かいご支援を水難救済会にいただきました。その活動に対し、平成二十年十一月十九日、浜田海上保安部において、浜田海洋少年団に対し島根県水難救済会足立事務局長より日本水難救済会会長の感謝状を贈呈しました。

# 平成20年度 救助船整備

## 平塚救難所に水上オートバイ配備

平成二十年青い羽根募金事業による救助船整備の第一弾として平塚救難所（神奈川県水難救済会）に水上オートバイ（ヤマハMJ-VX 七十五馬力定員三人）が七月十六日付けで配属されました。「HIRATUKA LIFE GUARD」と命名され平成二十年八月二十七日神奈川県平塚市の平塚新港で、神奈川県水難救済会主催の合同訓練に参加しました。神奈川県西部地区の八救難所が救難技術の向上を図るた



め実施しているものです。

今回の訓練は水上オートバイによる海中転落者の救助に主眼を置いて実施され、平塚救難所に配属されたばかりの水上オートバイが多数の訓練参加者の前で高速機動性等を發揮し、その救助能力の高さを披露しました。

## 苧田救難所に救助船配備 福岡県水難救済会苧田救難所

本救難所は、平成十七年四月一日に福岡県下四十三番目に設立された救難所です。

この度、社団法人 日本水難救済会の青い羽根募金事業による救難体制整備事業として救助船の配属があり、平成二十年十二月六日救助船竣工式を行いました。

配属された救助船は、沿岸域から沖合い海域までの広範囲にわたり、十分な復元力と速力のある「複合型FRP製」です。

主要要目 長さ 四・八〇メートル

幅 二・一五メートル

深さ 〇・九〇メートル

馬力 八十馬力

速力 三十ノット以上

定員 五名

苧田救難所が管轄する苧田港は国際貿易港であり、また沖合いには北九州空港も開港され、多くの人や貨物が往來する交通の要として大変重要な港湾です。

苧田球難所に配属された救助船は、高性能を有しており、その高い機動力を生かし、救助任務の外、不審船の監視や犯罪の防止にも貢献できると考えています。



## 青い羽根募金支援自動販売機の設置状況



### 三重県水難救済会

昨年からの全国的に「青い羽根募金支援自動販売機」設置を推進していますが、十一月末日現在全国に八十七台が設置済みで、平成二十年度の目標台数八十台を超え、設置計画等を入れますと年度末には百台の大台に乗りそうな勢いです。

三重県水難救済会（代表：岩城 健）は、コカ・コーラセントラルジャパン株式の協力により、十月三十一日に四



日市の一号機に続く二号機を、伊勢・志摩地区を代表する観光スポットとして皆様に知られている鳥羽水族館に「青い羽根募金支援自動販売機」を設置し除幕式を行いました。

伊勢・志摩地方には、初めての設置であり、同水族館は、関西・中京方面からの観光客も多く訪れるところです。

同自動販売機により、海難防止思想の普及も図られるものと期待され、御木本パールアイランドへの設置も進められております。

### 岡山県水難救済会

岡山県水難救済会は、「青い羽根募金支援自販機」第一号機を平成二十年七月に設置以来、積極的に設置を進めており、この度、玉野市内の三井造船（株）玉野事業所の協力により、事業所内に二台、生協売店に一台を設置しました。

これで、十二月五日現在の設置台数は、玉野市内に十二台、岡山市内に四台、瀬戸内市内に二台及び備前市に一台の合計十九台となりました。

また、現在十四台の設置について、各地方公共団体及び各事業所と交渉中であ

り、早ければ二十年度内に三十台の大台も可能と期待されています。



玉野市内に設置された支援自販機



備前市内に設置された支援自販機

# 青い羽根募金実績の状況

## 青い羽根募金高額寄付者等に会長感謝状を贈呈

個人の皆様は、掲載を割愛させていただきます

- 佐川急便株式会社様
- 新日本石油精製株式会社仙台製油所様
- 新日本石油精製株式会社根岸製油所様
- 太平洋フェリー株式会社様
- 株式会社タムラ製作所様
- 株式会社タモリ事務所様
- 東洋建設株式会社様
- 三井造船株式会社玉野事業所様
- 寄神建設株式会社様
- 若築建設株式会社東京支店様
- 若築建設株式会社名古屋支店様
- 若築建設株式会社古屋支店様
- 独立行政法人日本原子力開発機構核燃料サイクル工学研究所様
- 独立行政法人日本原子力開発機構東海研究センター様
- 海友会様
- ジャパンゲームフィッシュ協会様
- 東京南ロータリークラブ様
- 千代田区海洋少年団様
- 大田区海洋少年団様
- 沼津海洋少年団様
- 田後海洋少年団様
- 福山海洋少年団様
- 津海洋少年団様
- 浜田海洋少年団様
- 牛深海洋少年団様
- ホーイスカウト静岡連盟静岡第四十七回様
- 国立室戸青少年自然の家様
- 明治大学付属中野八王寺中学・高校様
- 東京海洋大学学生寮一同様
- 逗子開成中学校ヨット部様
- 陸上自衛隊 旭川駐屯地様
- 陸上自衛隊 東千歳駐屯地様
- 陸上自衛隊 北千歳駐屯地様
- 陸上自衛隊 島松駐屯地様
- 陸上自衛隊 帯広駐屯地様
- 陸上自衛隊 岩手駐屯地様
- 陸上自衛隊 北宇都宮駐屯地様
- 陸上自衛隊 練馬駐屯地様
- 陸上自衛隊 朝霞駐屯地様
- 陸上自衛隊 富士駐屯地一同様
- 陸上自衛隊 駒門駐屯地様
- 陸上自衛隊 千僧駐屯地様
- 陸上自衛隊 大久保駐屯地様
- 陸上自衛隊 善通寺駐屯地様
- 陸上自衛隊 福岡駐屯地様
- 陸上自衛隊 別府駐屯地様
- 陸上自衛隊 北熊本駐屯地様
- 陸上自衛隊 都城駐屯地様
- 海上自衛隊 大湊地方総監部様
- 海上自衛隊 横須賀地方総監部様
- 海上自衛隊 舞鶴地方総監部様
- 海上自衛隊 佐世保地方総監部様
- 海上自衛隊 第一航空群様
- 海上自衛隊 第五航空群様
- 航空自衛隊 第三航空団隊員一同様
- 航空自衛隊 小松基地様
- 航空自衛隊 美保基地様
- 航空自衛隊 芦屋基地様
- 航空自衛隊 築城基地様
- 宮崎市様

### 青い羽根募金活動にご協力いただき、ありがとうございました



津海洋少年団の皆さん



根室市立瑤瑠小学校の皆さん

# 新設救難所の紹介

海難救助活動の拠点となる新たな救難所等が  
新設されましたので紹介します。

それぞれの紹介文は、  
当該救難所から頂きました。

## 救難所の開設

### 一 社団法人 琉球水難救済会

社団法人琉球水難救済会〔会長翁長雄志〕では、県内に六六の救難所と一支所を設置し、救助活動を実施しています。

近年のマリンスポーツレジャーの普及に伴い、沖縄本島の東部中城村在久場崎地区及び本島西部渡嘉敷村在ナガンヌ島〔無人島〕等におけるマリンレジャーの活発化により、かねてより同地区の救助体制の充実をはかるため、救難所設置の

準備を進めてまいりましたが、この度関係者のご協力により、新たに両地区に救難所を本年七月十七日に開設する運びとなり、救難所の開所式を行いました。

同開所式には、来賓として第十一管区海上保安本部瓜生次長、中城海上保安部岩本部長、渡嘉敷村小嶺村長、中城北中城消防本部安里消防長、那覇市消防本部消防長〔代理・那覇市西消防署長〕の出席を賜り、また沖縄旅客船協会桃原会長、救難所長等関係者約五〇名が出席して行われました。

開所式では、会長あいさつ〔比嘉副会長あいさつ〕十一管区本部瓜生次長来賓あいさつ後、両救難所長に対し、救難所指定書、救難所長委嘱、救済会旗の授与、救難所看板の授与、救難資器材の贈呈、救難所員の紹介が行われました。

久場崎救難所長は、「事故を未然に防ぐ安全指導に努めたい」と意気込んできました。

#### ●久場崎救難所

平成二十年七月十七日設立

所長以下一〇名

中城湾久場崎地区海浜においては、マリンレジャースポーツの普及に伴い、多様なマリンレジャーが行われているため、同地区における水上オートバイ等を活用した救助体制の充実強化を図るために救難所を設置しました。

#### ●ナガンヌ島救難所

平成二十年七月十七日設立

所長以下二三名

那覇の西方約一二キロ周辺海域には、無人島の神山島、ナガンヌ島、クエフ島が散在し、同島及び海域には、観光客等が多数訪れ、マリンレジャーが活発化し、ナガンヌ島を利用する観光客が約二万人余り訪れ、また同海域には多くの遊漁船、ダイビング船等が進出しているとのことであり、海浜部等における救助体制の充実強化を図ることにしました。

ナガンヌ島が無人島であるため、救難所事務所を那覇市泊港付近に所在する施設に開設し、現場の救難所員と無線等で連絡設定等を行い、同地区における救助体制の充実強化を図るため、救難所を設

# 新設救難所の紹介

置しました。

開所式には、NHK及び地元新聞社の取材もあり、広く県民に周知されました。

## 一 鹿児島県水難救済会

### ● 南さつま市救難所

平成二十年四月一日設立

所長以下五六六名

- 笠沙支所
- 加世田支所
- 坊津支所

南さつま市は、平成十七年十一月七日に鹿児島県薩摩半島の南西部に位置する旧加世田市、笠沙町、大浦町、坊津町及び金峰町の一市四町が合併し誕生しました。本市の南側及び西側は東シナ海に面しており、海岸線は一〇二キロメートルにおよび、北西部は砂丘地帯を形成し、南西部は変化に富んだりアス式海岸が続いています。

変化に富み自然豊かで美しい海にレジャーの場を求め、磯釣り、船釣り、スキューバダイビングをする人が数多く訪れています。

以前の救難所は、南さつま市の笠沙町救難所として活動していましたが、海難事故が市内全域で発生していたことからエリアを全域に広め、海難事故発生時に迅速な対応ができるように、南さつま市



両救難所のみなさん



救難所指定及救難所長委嘱



内の五漁協と消防団の協力を得て、平成二十年四月一日新たに「南さつま市救難所」として五六六人で出発することになりました。

同年九月七日には、串木野海上保安部のご協力を頂き、万一に備えるため、海難救助訓練を実施し、関係機関との連携強化、救助技術の向上を図りました。

今後は、事故発生を未然に防ぐことは勿論のこと、関係機関との連携を密にし、事故発生時には迅速な対応ができるように務めてまいります。

## ●鹿児島市救難所

平成二十年七月三日設立

所長以下五五六名

鹿児島市は、世界有数の活火山桜島を擁する波静かな錦江湾に面しており、NHK大河ドラマ「篤姫」でご案内のとおり歴史、文化、景観に恵まれた、日本の南の交流拠点都市として発展を続けております。平成十六年十一月には一市五町が合併し、人口六〇万人、錦江湾を挟んで東西約三三キロ、南北約五一キロの県都として新たなスタートをきったところです。

錦江湾は豊富な海洋資源に恵まれ、ブリやカンパチなどの養殖業や沿岸漁業が盛んであり、また、毎年、全国のヨット愛好者が集い、鹿児島カップ火山めぐりヨットレースが開催されるなど海洋レジャーも盛んに行われています。

その一方で、本市とその周辺海域における海難事故については、平成十九年は、衝突、転覆等の船舶事故が一六件、転落等の人身事故が三二件発生しています。

このようななかで、本市では、安心安全まちづくり条例を平成十七年十月に制

定し、様々な施策を展開しているところであり、様々な施策を展開しているところでもあります。海における市民の安心安全の確保も極めて重要であり、海難事故が発生した際に人命救助を行うボランティア団体としての鹿児島市救難所の設立については、鹿児島海上保安部等とこれまで協議を進めてまいりました。このようにして平成二十年三月には、鹿児島市内の漁業協同組合と小型船舶所有者団体に設立趣旨を説明し、参加を呼びかけたところ、一三の団体から賛同の意思を表明いただき、鹿児島海上保安部等のご指導をいただきながら、最終的には所員合計五六〇名と県内で最大規模の救難所の設立に至りました。

私どもの救難所は救難所長である鹿児島市長と、五つの漁業協同組合と八つの小型船舶所有者団体から構成されています。所長の下には五漁協の組合長からなる副所長が置かれ、さらに団体ごとに救助長、班長、班員を置いています。

今後、関係機関のご指導をいただきながら、訓練や研修等を通して救難所としての体制を充実、強化していき、迅速かつ円滑に救助活動を行えるよう努めてまいりますと考えています。

## 鹿児島市救難所 開所式



## 一福岡県水難救済会

### ●脇田救難所

平成二十年四月一日設立

所長以下四〇名

### ●岩屋救難所

平成二十年四月一日設立

所長以下三九名

両救難所が根拠地とする脇田・岩屋沖の海域は、玄界灘の東に位置し、その東側に関門海峡、北側に韓国、中国へ至る外海に接していることから、VLC、ケミカル・





岩屋救難所



協田救難所

オイルタンカー、大型フェリー等、各種様々な船舶の往来が頻繁な海域であるとともに、浅瀬が数多く存在するため、漁船はもとよりプレジャーボートも多数活動する好漁場の一面も有しています。

更に夏季シーズンにおいては、海水浴、水上オートバイ、ウエイクボード等の海洋レジャーが盛んな海域であるため、船舶海難ばかりでなく、人身事故も数多く発生しています。

このような中、救難所が設立されていなかった同海域において、水難事故における迅速な救助活動を行う必要があるとの思いから、協田漁業協同組合の本田義人組合長及び岩屋漁業協同組合の本田政安組合長並びに若松海上保安部間に調整を重ねた結果、海事関係者待望の救難所開設が決定し、平成二十年四月一日、福岡県内四三、四四番目の救難所として発足しました。

発足以来、既に数件の出動実績があるが、一人の怪我人をだすこともなく、スムーズな救助活動を行っており、若松海上保安部をはじめ海事関係団体から、両救難所に対し、ますますの活躍が期待されているところです。



美津島町高浜救難所の救助拠点となる漁港

し、南は対馬海峡東水道を挟んで壱岐島、九州本土に面しています。このたび、対馬に漁協の合併・再編成等により、二つの救難所が誕生しました。

一長崎県水難救済会

●美津島町救難所

平成二十年九月一日設立

所長以下一一名

■尾崎支所

●美津島町高浜救難所

平成二十年十月一日設立

所長以下一五名

長崎県対馬は日本海の西に浮かぶ南北役八二キロメートルの細長い島で、北は対馬海峡西水道をはさんで朝鮮半島に面

## 一鳥取県水難救済会

### ●湯梨浜町救難所

平成二十年六月一日設立

所長以下九一名

湯梨浜町は、平成十六年十月一日に羽合町、泊村、東郷町が合併して誕生した町で、鳥取県のほぼ中央に位置し、町の中央部には周囲約一二キロメートルの風光明媚な「東郷池」が広がり、北部は日本海に面しています。

この恵まれた自然環境を利用して、東郷池ではシジミ、ウナギ、フナ等の漁が行われ、日本海では泊漁港、羽合漁港の二つの漁港を基地として沿岸漁業が行われています。

さらに、浜辺ではハワイ海水浴場、石脇海水浴場等の遠浅の海水浴場も多くあり、海水浴客、マリンスポーツを楽しむ観光客で毎年にぎわっており、岩場・防波堤等においては県内外から釣り客が多数訪れています。このように海岸部は様々な形で利用されていますが、これに伴う事故も毎年のように発生しています。

この度、特に海難事故に対する救助体

制を確立して、マリネレジャーで訪れる観光客等の安全と安心を確保するため、町が主体となり鳥取県漁協泊支所及びび合漁港の組合員の方々に協力を呼びかけ、町長自ら所長となり救難所を設立したものです。



湯梨浜町役場に設置された湯梨浜町救難所

## 一岡山県水難救済会

### ●マリーナUW1救難所

平成二十年四月十七日設立

所長以下八名

平成十一年六月九日に岡山県水難救済会が発足後、平成十九年度までの間、五個所の救難所が設置されていますが、水島海上保安部管内には一個所しか救難所が存在していません。

かねてから、玉野海上保安部から水島海上保安部に至る海域、特に児島湾内は、シーズン中にはノリ養殖網が広範囲に設置され、巡視艇が接近出来ない海域であることから救難所の増設が出来ないものかと数年来模索していたところ、この度、県内優良企業である「マリーナUW1」が当会の活動主旨に賛同して頂き、本年四月に開催された、平成二十年度通常総会においても、全会一致で正会員から賛同を得たところです。マリーナUW1が正会員として加わったことから、岡山県下第六番目の救難所として活動を開始するに至りました。ハーバーマスター田代裕之氏は「海での事故は生命に危険

# 新設救難所の紹介



マリーナUW1救難所の  
看板を掲げる田代所長ほか

をおよぼす可能性が高く、微力ながらも海難救助に協力させて頂きたい。」と抱負を語っておられました。  
当会の存在については、まだ、一般的に知名度が高いとは言いがたく、今後とも積極的な情報提供やマスコミを通じてレスキューステーションとしての活躍が期待されます。



ボビーズRS艇庫と永井所長

●ボビーズレスキューステーション  
平成二十年九月三十日設立  
所長以下一〇名

岡山県の西部、日本の渚百選にも指定され、岡山県でも有数のマリンレジャー

活動が活発な「沙美海水浴場」に隣接する倉敷市玉島黒崎に位置し、全国でも数少ない水上バイク愛好家が組織する救難所で、砂州、岩場等が点在する倉敷市、浅口市、笠岡市沿岸部における船舶の侵入が困難な浅海域において、水上バイクの浅喫水、操縦性能及び高速性の特性を生かした迅速、俊敏な救助活動並びに水上バイクの安全運航及びマナー向上のための組織的な指導を実施し、岡山県西部海域における海難救助・事故防止活動の一翼を担う目的で発足しました。

## ●牛窓町漁業協同組合救難所

平成二十年四月十七日設立

所長以下一六名

牛窓地区海難救助連絡協議会が廃止されたので漁業協同組合が独立して新たに救難所として設置されました。

## 一 兵庫県水難救済会

### ● 明石救難所

平成二十年六月六日設立

所長以下五名

兵庫県明石市の西部に位置する二見町は、播磨灘沿岸に相当古くから農漁村的集落として発達していたと考えられる。二見町は、背後に播磨平野の農工業地をひかえ、前には播磨灘をへだてて、近くには淡路島、遠くは四国を望む地にある。町内にはJR・山陽電鉄が東西に通じ、JR土山駅、山陽電鉄東二見駅・西二見駅が設置されている。一方、海には二見港や東播磨港があつて、明石市の西の陸海の玄関である。

二見浦は屏風が浦と並んで昔から非常に美しいところだったようで、『播磨鑑』（二七六二年）には、明石浦の西につきき東播磨の名所なりとしており、『玉くしけ 二見の里の卯の花を 有明の月と おもいけるかな』

『良玉集』 戒秀法師

などの歌を紹介している。

二見の人工島は、昭和五十年（一九七五年）の用地造成が終わり、二見臨海工

業団地や明石海浜公園などが開設され、南二見という地名となった。その南二見人工島の北西、二見大橋のたもとにある明石唯一のマリーナ、明石マリンポート内に兵庫県下一二番目の救難所が設置されました。



明石マリンポートに設置された明石救難所

### ● 淡路市東海岸救難所

平成二十年六月六日設立

所長以下二二名

当救難所は兵庫県の南の端の淡路島の北東に位置し、大阪湾を望む沿岸に面し、イカナゴ、チリメン漁をはじめ、エビ、アナゴ、タコ、カニ、タイなどを獲る小型底曳網漁業やノリ、ワカメの養殖も盛んな津名漁業協同組合の組合員を中心に設立された救難所です。

これまで漁業協同組合として救助や捜索に協力してきましたが、これからは淡路市東海岸救難所として組織だった活動をしていきたいと思います。

### ● 淡路市西海岸救難所

平成二十年六月六日設立

所長以下二一名

当救難所は兵庫県の南の端の淡路島の北西に位置し、播磨灘を望む海辺にあり、イカナゴ、チリメン漁をはじめとして、ノリの養殖も盛んな育波浦漁業協同組合の組合員を中心に設立された救難所です。

# 新設救難所の紹介

最近プレジャーボート等による船舶事故も増えており、これを機に他救難所とも連携を取り、救難活動に取り組んでいきたいと思っています。



淡路市東海岸救難所（津名漁協）



淡路市西海岸救難所（育波浦漁協）

## ● 一 大阪府水難救済会 二色の浜地区救難所

平成二十年四月一日設立

所長以下二名

大阪湾内の大阪府域（九市三町）、総延長八十数キロメートルを対象に大阪地区救難所・堺地区救難所・岸和田地区救難所の三救難所で事業展開をしていたところ、二年前に大阪府最南部の潮流が早く船舶の安全面で設置が望まれていた岬町に小島漁業協同組合の協力により、岬地区救難所を開設することが出来ました。

今回開設された二色の浜地区救難所が位置する二色の浜は大阪府を代表する砂浜の海水浴場であり、水上オートバイなどのマリンスポーツが盛んな海域です。

二色の浜公園海浜緑地にジェットスポーツ専用施設の管理業務を（財）大阪府公園協会から委託を受けた（財）マリンスポーツ財団からこのたび水難救済活動への協力申出があり、プレジャーボートの普及等により海難事故の発生時に迅速な対応が望まれることから、二色の浜地区救難所を設置しました。



二色の浜地区救難所

## 千葉県水難救済会

### ●富浦町救難所

平成二十年六月十一日設立

所長以下五〇名

南房総市富浦町は、房総半島の南端に位置し、天皇陛下に献上の「房州びわ」の産地と知られ温暖な気候に恵まれ観光地、マリンスポットとして年間観光客の絶えない地域です。近年、房総半島を縦断する館山自動車道の開通、アクアライクの開通により都会から身近になったため、海洋レジャー客が急増し海難事故の増加が危惧され、また漁業者の漁船から



富浦町漁業協同組合に設置された富浦町救難所

落水する事故が発生したことにより、救助体制の整備の要望が高まり救難所の発足となりました。

千葉県内では二一番目の救難所設立となります。

当地区は千葉海上保安部の管轄ではありませんが、地域的に離れた地区であり早急な救助を要求される海難に対し、当救難所の設立はより迅速に対応できると地域から多くの期待をされております。

## 一新潟県水難救済会

### ●姫津救難所

平成十九年十二月二十五日設立

所長以下九名

### ●高千救難所

平成二十年一月十五日設立

所長以下一八名

### ●佐渡七浦救難所

平成二十年五月一日設立

所長以下三〇名

平成十九年末から平成二十年にかけてのほぼ同時期に、歴史の島佐渡に三箇所の救難所が設立されました。

この三箇所はお互い隣接した漁港区で、佐渡北西岸に位置し冬期は日常的に波の花が舞う最も生活環境の厳しい地域です。

一方、佐渡随一の景勝地尖閣湾、七浦海岸や徳川三〇〇年の繁栄を支えた佐渡金山など多くの観光資源を有する地区でもあります。

かつて、この地域には相川救難所があり活動していたのですが退会解散したため水難救済の空白地帯でした。しかしまも

# 新設救難所の紹介

なく漁業関係者の間でやはり組織化した救助団体が必要であるとの声があがり、その上海上保安署の強い指導等もあり再び設立の気運が高まりそれぞれ今回の設立に至りました。

今度は各漁協単位に小規模な救難所を設け管理運営し易いように組織しており、そして救助員は以前にそれぞれ加入していた人々が多いことから、これからは確かな救助活動が期待される所であり、海上保安官署から最も遠隔の地での設立の意義は非常に大きいものと期待されております。

ここで追伸ですが、佐渡島の対岸で新潟市郊外にあった「新潟西浦救難所五十嵐支所」が同時期に「新潟五十嵐救難所」として独立再出発したことも合わせてご紹介致します。

## 新設支所

### 一三重県水難救済会

●鳥羽伊勢地区海難救助連絡協議会

■穴川支所 支所長以下二三名

一長崎県水難救済会

●五島ふくえ救難所

■黄島支所 支所長以下一三名

一福島県水難救済会

●小名浜救難所

■小浜支所 支所長以下二四名

一徳島県水難救済会

●鳴門救難所

■新鳴門支所 支所長以下五名  
■室撫佐支所 支所長以下五名

一高知県水難救済会

●室戸岬救難所

■甲浦支所 支所長以下五名

■加領郷支所 支所長以下七名

■田野町支所 支所長以下四名

■安田町支所 支所長以下六名

## 廃止救難所等

一鹿児島県水難救済会

●南さつま市笠沙町救難所

一福岡県水難救済会

●大牟田救難所

一岡山県水難救済会

●牛窓地区海難救助連絡協議会

一熊本県水難救済会

●日奈久救難所

一長崎県水難救済会

●尾崎救難所

■高浜支所

●黄島救難所

●福江市福江救難所

一新潟県水難救済会

●新潟西浦救難所

■五十嵐支所